

本草圖譜

芳草部

七

本草圖譜卷之七目錄

芳草類 二

廉薑 れんきやう

かんせきらん

二

杜若 とあざく

青のふまたけらん

三

山薑 さんきやう

なまめうが

四

高良薑 かうりやうきやう

ふまたけらん

五

草豆蔻 さうづく

六

白豆蔻 ちやくづく

七

縮砂密 ちゆくさやく

八

益智子 ややくち

九

草菱 ひさう

十

蒟醬 くしやう

きんま

十一

一種

あはびぎ

一種

細長葉の物

肉豆蔻

十二

一種

十三

補骨脂

たらんごひめ

十四

薑黃

十五

鬱金

きむめうき

十六

蓬莪茂

うすごろ

十七

荊三稜

くらう

十八

一種

おんかやつ

一種

がむ

十九

莎草香附子

もほすげ

二十

一種

水莎草

一種

かやけうき

廿一

一種

一種

一種

一種

かうげん

廿二

一種

本草圖譜卷之七

東都

岩崎常正著

芳草類 二

二十九種

上海陸
於松州
乙卯年菊月



廉薑 れんきやう

がんせきらん

和俗錦雞蘭ともいふ人家稀に植冬凋び葉の白菱は似て短く又杜若青の苗に似て潤く淡黄色の斑点あり故に又あつらんともいふ根の傍に一莖を生じ高さ二尺むろ梢は五七莖あり形白菱に似て黄色なり根一年一塊と生じ形羸に似て緑色多く連生じ根味辛くと番椒タヤガラシの如し此物神田氏の説に紀州山中に自生ありて俚民根を採生じて菜に加へ香味を助く辛くと氣香く蕘菜カサヤに似たりといふ



杜若^{とあや}

あをのくまたけらえ

長崎めて和の

高良薑と云形

状くまたけらえふ

似て高さ三尺むう茎綠色暖地るれが冬凋まげ花の
形も高良薑ふ似て白色心淡紅う葉根も高良

香あり根黄色味辛一弘景の説ふ葉似薑而

有文理根似高良薑而細味辛香と云又廣



東新語小鮮草果人多種以為香料蓋即
杜若非菜中之草果也其苗似縮砂三月開
花作穗色白微紅五六月子結其根勝於
葉味辛以溫能避瘴氣と云是あり先輩
かきつたこ又やふめうか等を充るは皆誤り
別ふ委き考あり

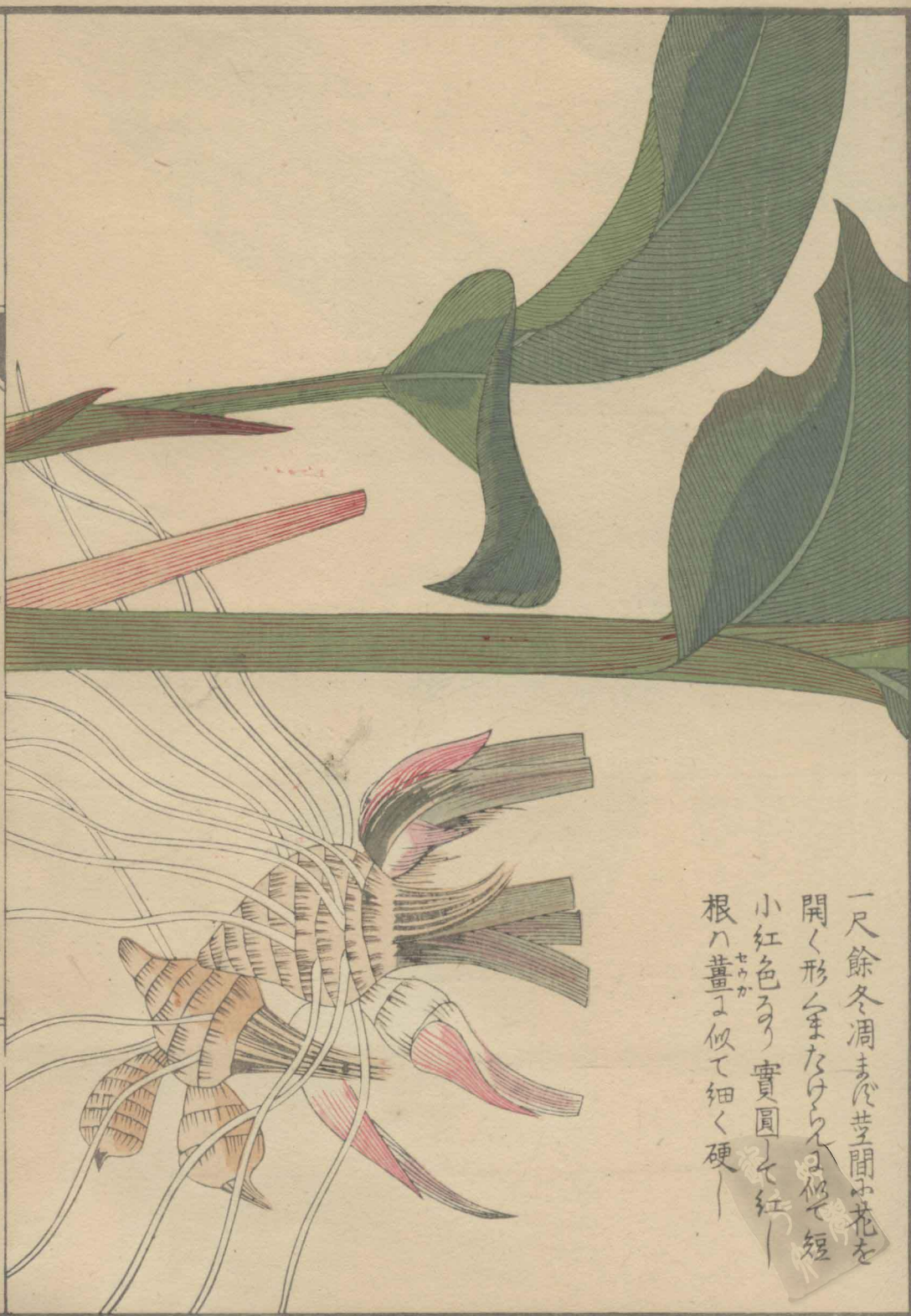


山薑 さんきやう

なみめうが



豆州 高田郡及勢州 紀州 豫
州 駿州 等 小産 以 葉 薑 不
似 微 毛 あり 薑 紅 紫 色 之 也



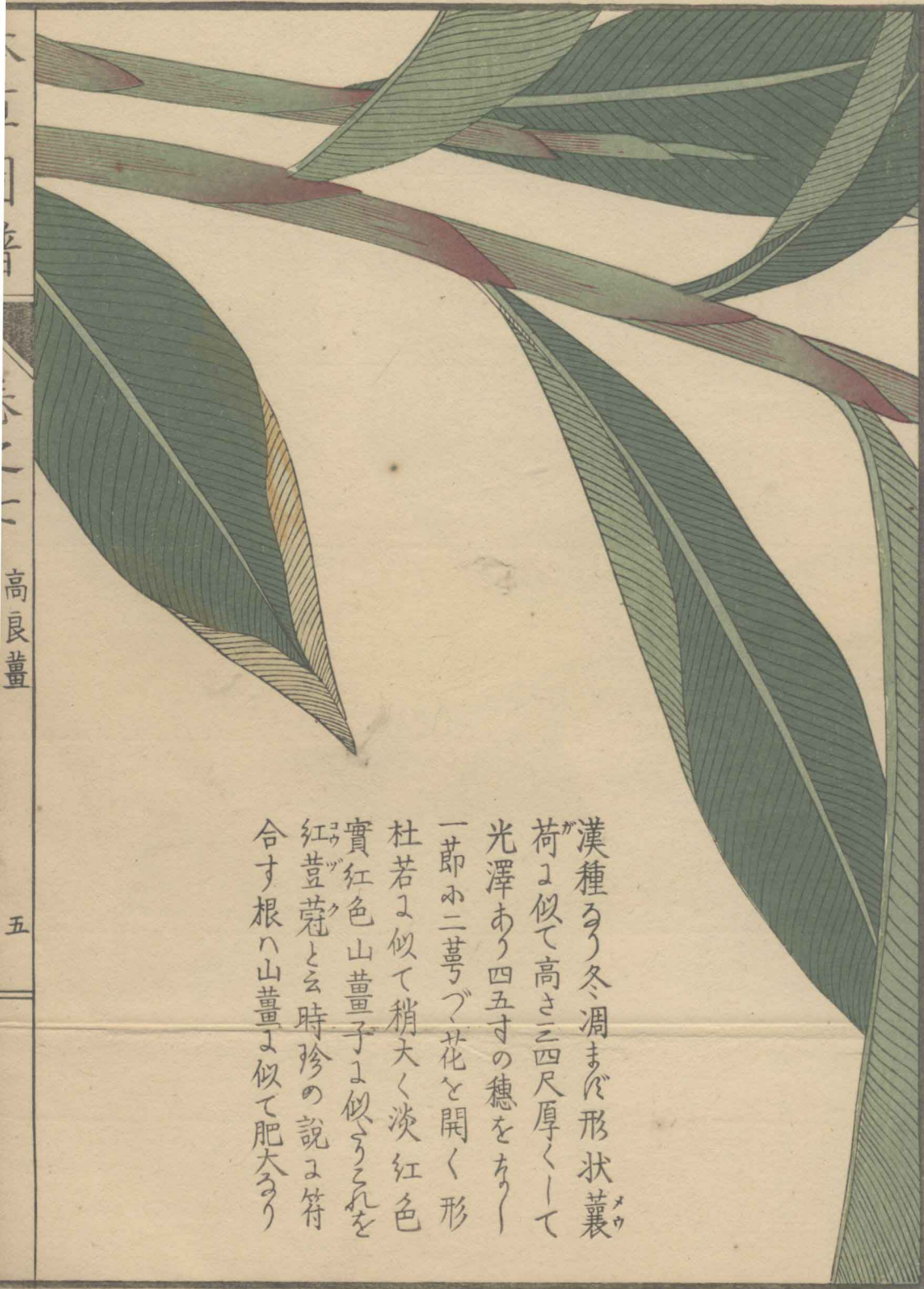
一尺餘冬凋萎茎間小花を
開く形ふまなげらるゝ似て短
小紅色ろり實圓く紅く
根ハ薑セウカは似て細く硬く

かうきんきょう
高良薑

くまたけらん

がらんが
和蘭





漢種るう冬凋まぬ形状メウ 薹
 荷ガは似て高さ三四尺厚くいて
 光澤あり四五寸の穂をちり
 一節ふ二莖づつ花を開く形
 杜若は似て稍大く淡紅色
 實紅色山薑子コハクは似るこれを
 紅薑薹ベニガクと云時珍の説は符
 合す根ハ山薑は似て肥大る

草荳蔻





和蘭物印満の
 圖がらが羅の類の
 中めて苗葉菜^{ナベ}菜^{ナベ}
 め似て長く根の傍
 より實を生ト形
 松毬^{マツグミ}の如く根横
 行一良薑^{リョウキョウ}に似る
 りのありこも草
 荳蔻^{シュコウ}あり

白^{びやく}荳^づ蔻^く

和蘭物印滿の圖
がらんが^{甸羅}の類の中を
苗葉黃精に似て
長く末は穂を生ず
白花を開くものあり
これ白荳蔻あり



實の圖
宇田川榕菴寫



縮砂密ちぢくさやう

カルダモミニムマユス
蘭荷



和蘭物印満の圖
其形木本の様めて
枝を分葉狭長実下
垂して赤黒色なり
然れども本草綱目
縮砂益グサ智とも草本
なりと云ふ合されば此